

46. 透析室における透析開始前のタイムアウトの有効性

研究の概要

透析医療には、透析機器を使用した体外循環を行う治療室としての特殊性があります。そのため、透析に関わる医療者には専門性が求められるとともに、機器や設定の確認不足が重大な事故に繋がる危険性が常に存在しています。そのため、エラーを事前に検出し、事故防止のためのシステムを構築することが透析医療の安全性の向上だけでなく、患者様に対する透析医療・看護の質の向上が期待できます。

タイムアウトとは：透析開始前に、医療者がすべての作業を中止し、透析機器の確認や透析条件など必要事項の確認を行うこと

研究の目的と方法

透析開始前のタイムアウト導入(2017年4月)前後1週間の透析室での発生したインシデントを集計し、件数ならびに内訳の比較し調査します。

本研究の参加について

本研究は、インシデント分析であるため、患者様へ不利益が生じることはありません。また研究時に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に取り扱いたします。その他本研究に関してご質問がございました際には、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

調査する内容

透析開始前のタイムアウト導入(2017年4月)前後1年間の透析室での発生したインシデントの件数ならびに内訳を調査します。

透析開始前のタイムアウト導入前(2016年4月から2017年3月)

透析開始前のタイムアウト導入後(2017年4月から2018年3月)

調査期間

研究期間：倫理委員会承認日より2019年3月にかけて調査します。

研究成果の発表

第64回日本透析医学会学術集会・総会で発表する予定です。

研究代表者

看護部 松野順

当院における研究責任者

看護部 深山美香

問い合わせ先

看護部 深山美香

TEL: 096-353-6501